

看護の統合と実践

目標Ⅰ. 看護におけるマネジメントの基本について理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 看護におけるマネジメント	A 看護マネジメントの概念	a 看護マネジメントの定義	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-1 「看護サービスの管理とはどのようなことか」 (p.255~257) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第1章 A-1 「看護管理の定義」 (p.2)
		b 看護組織と職務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-3 「組織」 (p.260~267) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 B 「組織目的達成のマネジメント」 (p.80)
		c 組織経営と看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D 「看護サービスの管理」 (p.255~276) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 B 「組織目的達成のマネジメント」 (p.80)
	B 医療・看護の質保証	a 医療・看護の質と指標	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 B-2 「看護実践とその質保障に必要な要件」 (p.33~46)、第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.276~287) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 I-1 「医療におけるサービスの質の評価」 (p.132) クリティカルケア看護学 : 第7章 A-2 「看護ケアの質の保証」 (p.226~227)
		b 病院機能評価	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第3章 I-2-1 「病院機能評価」 (p.135)
		c 医療・看護の標準化とクリニカルパス	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-3 「クリティカルパス」 (p.53)
		d 看護業務管理、看護の交代勤務	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 D-2 「看護管理システム」 (p.257~259)、D-5 「人的資源の管理」 (p.270~276) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 D-2 「勤務体制(交代制勤務)」 (p.103)
		e 看護業務基準、看護手順	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-2 「看護基準と看護手順」 (p.51)
		f 看護制度、看護提供システム	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 C-4-2 「診療報酬制度における看護サービスの評価」 (p.249~255)、D-3-3 「看護部組織」 (p.264~267) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 C-2 「看護ケア提供システム」 (p.91)、第6章 「看護を取り巻く諸制度」 (p.165)
		g 診療報酬制度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 C-3 「看護サービスと経済のしくみ——診療報酬と人員配置」 (p.243~247) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 C-2-4 「診療報酬」 (p.185) 社会保障・社会福祉 : 第3章 E 「保険診療のしくみ」 (p.80~82)
		h 重症度、医療・看護必要度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 C-4-2 「診療報酬制度における看護サービスの評価」 (p.249~255) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章-NOTE 「重症度、医療・看護必要度」 (p.186)
	C 保健医療の機能分化と連携	a 看護の専門性と多職種連携	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C-4 「多職種チームとしての情報共有と継続的かかわり」 (p.56~59)、第6章 B-1 「看護サービスの担い手とチーム医療」 (p.215~217) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 D 「チーム医療」 (p.41)、第6章 B 「看護職」 (p.167)
		b 病床機能報告	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章-NOTE 「病院等の病床機能報告」 (p.182) 社会保障・社会福祉 : 第2章 B-1-3 「課題と改革の方向——社会保障と税の一体改革」 (p.45~46) 看護関係法令 : 第3章 A-13 「病床の機能分化、連携の推進」 (p.71~72)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 医療計画	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 C-1 「医療法」 (p.181) 社会保障・社会福祉 : 第2章 B-2-1 「医療提供体制の特色と課題」 (p.47~48) 看護関係法令 : 第3章 A-12 「医療計画など医療提供体制の確保」 (p.69~71)
		d 継続看護、入・退院調整	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-3 「継続看護」 (p.229~232)
		e 地域包括ケアシステム	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 B-2-3 「継続看護」 (p.229~232) 在宅看護論 : 第1章 B-1 「超高齢多死社会の進展と地域包括ケア」 (p.17~20) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第1章 A-4-4 「地域における包括的なケア」 (p.8) 公衆衛生 : 第8章 D-4 「地域包括ケアシステムの構築」 (p.256~258)
	D 情報のマネジメント	a 医療情報の利活用	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第1章 C 「看護の継続性と情報共有」 (p.48~62) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4 「情報の活用」 (p.53) 社会保障・社会福祉 : 第2章 B-2-2 「健康づくり対策の展開」 (p.48) 看護情報学 : 第3章 「保健医療と情報」 (p.40~61)、第5章 「医療における情報システム」 (p.90~127)
		b 情報の公開	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 G-5 「情報開示への対応」 (p.125)
		c 個人情報の保護と管理、診療情報等の開示	在宅看護論 : 第5章 D-3 「個人情報の保護」 (p.159~162) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第4章 G 「情報のマネジメント」 (p.122)
		d 診療記録等の電子化と医療情報システム	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4-6 「情報システムを用いた記録」 (p.56)
	E 医療安全のマネジメント	a 安全管理体制整備と医療安全文化の醸成	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 E 「医療安全と医療の質保証」 (p.276~287) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-1 「安全管理のしくみ」 (p.23) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 序章 「医療安全を学ぶことのたいせつさ」 (p.2~6)、第8章 A 「組織としての医療安全対策」 (p.236~246) クリティカルケア看護学 : 第7章 B 「クリティカルケア看護と安全管理」 (p.229~235)
		b 医療事故・インシデントレポートの分析と活用	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第6章 E-5 「医療事故防止対策としてのインシデントレポートの活用」 (p.284~286) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 C-2-4 「事故報告書(インシデントレポート)」 (p.29) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第8章 A-3-3 「事故やヒヤリ・ハット報告によるリスクの把握-分析-対策体制の確立」 (p.240~246)
		c 多重課題の特徴と対応	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第2章 E-4-2 「優先順位の決定と多重課題への対応」 (p.60) 看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第5章 B 「間違いを誘発する多重課題、タイムプレッシャーと業務途中の中断」 (p.197~200)
	F 人材育成・活用	a 継続教育、キャリア開発	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第4章 C-2 「継続教育」 (p.160~162)、C-4 「看護職のキャリア開発」 (p.165) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第3章 A 「キャリアとキャリア形成」 (p.64)、第4章 D-1 「キャリアディベロップメント」 (p.96)、第6章 B-6-2 「継続教育」 (p.176)
		b 認定・専門看護師の資格と活動	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第4章 C-3 「専門看護師・認定看護師・認定看護管理者」 (p.163~165) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 B-7-1 「高度実践看護師」 (p.176)、B-7-2 「認定看護師・認定看護管理者」 (p.177)
		c 特定行為に係る看護師の研修制度	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第4章 D-2 「『特定行為に係る看護師の研修制度』の開始」 (p.173~176) 在宅看護論 : 第4章 G-2-4 「特定行為に係る看護師の研修制度」 (p.107) 看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 B-7-3 「特定行為研修制度」 (p.179) 看護関係法令 : 第2章 A-6 「研修」 (p.30) 臨床薬理学 : 序章 3 「薬物治療における看護師の役割拡大」 (p.3)
		d 看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度	看護の統合と実践 [1] (看護管理) : 第6章 B-3-2 「看護師等の人材確保の促進に関する法律と関係法令」 (p.170)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 看護師等の労働安全衛生	看護関係法令：第2章B「看護師等の人材確保の促進に関する法律」(p.48~50) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第4章D-5-3「看護管理と労働安全衛生」(p.275~276) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第4章D-3-4「職員(看護職)の労働安全衛生」(p.106) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第7章「看護師の労働安全衛生上の事故防止」(p.218~234)
	G 看護政策と行政	a 看護政策立案の過程	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-2「看護政策——法をつくり、実行するしくみとその過程」(p.240~243) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章D-2「政策過程」(p.193)
		b 看護行政の組織と役割	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第6章C-2-3「看護サービスにかかわる行政のしくみ」(p.241~243) 看護の統合と実践 [1] (看護管理)：第6章D-1「看護行政の組織」(p.190)

目標Ⅱ. 災害看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 災害と看護	A 災害医療	a 災害の特徴	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章B-1「災害看護の概念と構造」(p.320~323) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B「災害医療の基礎知識」(p.21~78) 公衆衛生：第11章B-1「災害の定義」(p.369~370)、B-2「災害の種類」(p.370) 救急看護学：第1章C-3-4「災害時の医療」(p.37~39)、C-3-5「災害看護」(p.39~40)
		b 災害と法制度	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B-7「災害看護と法律」(p.68~75) 公衆衛生：第11章B-3-1「災害対策の法体系」(p.370~372) 看護関係法令：第3章D-5-2「災害時の医療に関する法」(p.115~117)
		c 災害時の支援体制と医療体制	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B「災害医療の基礎知識」(p.21~78) 公衆衛生：第11章B-3-2「災害時の保健・医療・福祉システム」(p.372~374) 救急看護学：第1章C-3-4「災害時の医療」(p.37~39)、C-3-5「災害看護」(p.39~40)、第3章F「災害時における対応」(p.89~96)
	B 災害の種類と特徴	a 自然災害	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章B-1-2「災害の概念」(p.321~322)、B-2-1「災害が人々の健康に及ぼす影響」(p.323~326) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B-2「災害の種類と健康障害」(p.22~35) 公衆衛生：第11章B-2「災害の種類」(p.370) 救急看護学：第1章C-3-1「災害の定義と分類」(p.36)
		b 人為的災害	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章B-1-2「災害の概念」(p.321~322)、B-2-1「災害が人々の健康に及ぼす影響」(p.323~326) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B-2「災害の種類と健康障害」(p.22~35) 公衆衛生：第11章B-2「災害の種類」(p.370) 救急看護学：第1章C-3-1「災害の定義と分類」(p.36)
		c 特殊災害	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章B-1-2「災害の概念」(p.321~322) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B-2「災害の種類と健康障害」(p.22~35)、B-4「マスギャザリングとNBC災害への対応」(p.52~56) 公衆衛生：第11章B-2「災害の種類」(p.370) 救急看護学：第1章C-3-1「災害の定義と分類」(p.36)
		d 複合災害	基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章B-1-2「災害の概念」(p.321~322) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章B-2「災害の種類と健康障害」(p.22~35)、B-4「マスギャザリングとNBC災害への対応」(p.52~56) 公衆衛生：第11章B-2「災害の種類」(p.370)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 災害各期の看護	a 災害看護の特徴	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-1-3 「災害看護とは」 (p.321～323) 在宅看護論：第4章 D-3 「災害時の在宅看護」 (p.115～119) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 C 「災害看護の基礎知識」 (p.78～101)、D 「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」 (p.101～143)、E 「被災者特性に応じた災害看護の展開」 (p.143～171) 救急看護学：第1章 C-3-5 「災害看護」 (p.39～40)</p>
		b 災害各期(超急性期・急性期・慢性期・静穏期)の特徴	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3 「災害サイクルにそった看護活動」 (p.326～333)、B-4 「心理的回復の過程」 (p.333～334)、B-6 「災害への備えとそのシステム」 (p.335～338) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-3-4 「災害サイクルから考える災害医療」 (p.46～48)、C 「災害看護の基礎知識」 (p.78～101)、D 「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」 (p.101～143)、E 「被災者特性に応じた災害看護の展開」 (p.143～171) 公衆衛生：第11章 B-4 「災害時の保健活動」 (p.374～378) 救急看護学：第1章 C-3-3 「災害サイクル」 (p.37)</p>
		c 各期における保健医療の役割と看護	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3 「災害サイクルにそった看護活動」 (p.326～333)、B-4 「心理的回復の過程」 (p.333～334)、B-6 「災害への備えとそのシステム」 (p.335～338) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 B-3-4 「災害サイクルから考える災害医療」 (p.46～48)、C 「災害看護の基礎知識」 (p.78～101)、D 「災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護」 (p.101～143)、3章 「地震災害看護の展開」 (p.191～232) 公衆衛生：第11章 B-4 「災害時の保健活動」 (p.374～378) 救急看護学：第1章 C-3-5 「災害看護」 (p.39～40)</p>
		d 各期における要援護者への看護	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 B-3 「災害サイクルにそった看護活動」 (p.326～333)、B-4 「心理的回復の過程」 (p.333～334)、B-6 「災害への備えとそのシステム」 (p.335～338) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 C 「災害看護の基礎知識」 (p.78～101)、E 「被災者特性に応じた災害看護の展開」 (p.143～171) 救急看護学：第1章 C-3-5 「災害看護」 (p.39～40)</p>

目標Ⅲ. グローバル化を視野に入れた国際社会における看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 国際化と看護	A 看護における国際化の視点	a グローバル化と世界共通の健康目標	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-1 「国際看護学とはなにか」 (p.290～291)、A-1-2 「国際看護学の2つの視点」 (p.291～292)、A-5-1 「プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション」 (p.307～308) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第1章 A 「看護とグローバル化した社会」 (p.2～3)、第4章 A-1 「世界の健康問題の現状」 (p.234～238)、B 「グローバルヘルス」 (p.251～259) 公衆衛生：第7章 E 「国際保健の共通目標」 (p.190～191)</p>
		b グローバル化と人間の安全保障	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-5-2 「人間の安全保障」 (p.308) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第1章 A 「看護とグローバル化した社会」 (p.2～3)、第4章 B-1-3 「人間の安全保障」 (p.255～256)</p>
		c 国家・地域間の健康格差	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-3 「健康と保健医療の世界的課題」 (p.293～300) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-2 「健康格差」 (p.56～57) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第4章 A 「国際看護学とは」 (p.234～251)、F 「開発協力と看護」 (p.283～303) 公衆衛生：第7章 B 「経済格差と健康格差」 (p.184～185)、C 「健康格差の解消のために」 (p.185～187)</p>
		d 国際保健における日本の役割	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-4 「国際協力のしくみ」 (p.300～307) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第4章 A-4 「国際看護学に関連する基礎知識」 (p.241～251)、C 「国際協力のしくみ」 (p.259～269) 公衆衛生：第7章 F 「国際保健と日本」 (p.192～193)</p>
		e 諸外国の看護制度	<p>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第4章 A-4-3 「看護師の国際組織と国際的な移動」 (p.249～251)</p>
	B 国際社会における看護の対象	a 在留外国人	<p>基礎看護学 [1] (看護学概論)：第7章 A-7 「日本に在留する外国人の看護」 (p.311～317)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 A-3-3 「在留外国人」(p.240)、D-2 「日本における文化や制度を考慮した在留外国人への看護の実践」(p.272~277)
		b 在外日本人	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 A-3-4 「在外日本人」(p.240~241)
		c 帰国日本人	看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 A-3-5 「帰国日本人」(p.241)
		d 国際協力活動を必要とする人々・地域・組織	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-2 「開発途上国の定義」(p.292~293)、A-3 「健康と保健医療の世界的課題」(p.293~300) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 A-3-1 「災害・紛争被害者」(p.240)、A-3-2 「開発途上国に住む人々」、A-4 「国際看護学に関連する基礎知識」(p.241~251)
	C 多様な文化と看護	a 文化を考慮した看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-8 「異文化理解」(p.317~320) 母性看護学 [1] (母性看護学概論) : 第6章 H 「国際化社会と看護」(p.308~315) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 D 「文化を考慮した看護」(p.270~277)
		b 在留外国人の保健医療課題と看護	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-7 「日本に在留する外国人の看護」(p.311~317) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 D 「文化を考慮した看護」(p.270~277)
	D 国際協力活動と看護	a 国際機関の役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-4-1 「国連(UN)」(p.300~304)、A-4-3 「非政府組織(NGO)」(p.306~307) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 C 「国際協力のしくみ」(p.259~269) 公衆衛生 : 第7章 D 「国際保健の担い手」(p.187~189) 救急看護学 : 第1章 C-3-7 「国際緊急援助」(p.40~41)
		b 国際協力活動において看護が果たす役割	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-4 「国際協力のしくみ」(p.300~307)、A-6 「国際看護活動の展開」(p.309~311) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 E 「国際看護活動の展開過程」(p.277~282)、F 「開発協力と看護」(p.283~303)、G 「国際救援と看護」(p.303~338)
		c 政府開発援助(ODA)を通じた開発途上国援助	基礎看護学 [1] (看護学概論) : 第7章 A-4-2 「政府開発援助」(p.304~306) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第4章 C-3-1 「政府開発援助(ODA)」(p.266~268)、F 「開発協力と看護」(p.283~303)、G 「国際救援と看護」(p.303~338) 公衆衛生 : 第7章 F 「国際保健と日本」(p.192~193)

目標Ⅳ. 複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 各領域(A~J)の看護の統合	A 基礎看護学		基礎看護学 [1] ~ [3]
	B 成人看護学		成人看護学 [1] ~ [15]
	C 老年看護学		老年看護学、老年看護 病態・疾患論
	D 母性看護学		母性看護学 [1] ~ [2]
	E 小児看護学		小児看護学 [1] ~ [2]
	F 精神看護学		精神看護学 [1] ~ [2]
	G 在宅看護論		在宅看護論
	H 看護におけるマネジメントの基本		看護の統合と実践 [1] (看護管理)
	I 災害と看護		看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)
	J 国際化と看護		看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)